

# 心豊かな世代が育つ

## 童話の里づくり 381

### ―シリーズ― あなたの人権・わたしの人権

#### 「心のバリアフリー」

古後中学校三年

井上 裕太

僕は中学校に入ってから、今まで三年間人権の学習をしてきました。

小学校の頃から少しずつ勉強していたけれど、そのときはなんとなくしかわかっていなかったこともありました。でも、中学校で人権の授業を詳しく受け、今まで知らなかったことを知ることができました。

一年生の時は、「心のバリアフリー」についての学習をしました。

身体障がい者の方たちと一緒に、車いすに乗る体験などの活動をしました。

僕は最初、障がいを持った人たちをどこか自分たちとは違う人のように思っていました。しかし、障がいを持った人たちと一緒に活動し、会話を

交わして、それは間違っていたなと思いました。

この学習の中で、障がいを持った方の一生懸命さ・生き様を僕は見習いたい、これからの人生に活かしていきたいと思いました。

二年生の時は、今も残る「部落差別」についての学習をしました。

昨年この学習では講師の方を学校に招いて、根強く残る「部落差別」の話をしてもらいました。

今まで架空の映画やドラマでしか見たことのないようなことが実際に起こっていることを知り、驚きました。

例えば差別落書きなどです。また、そんなことをする人がこの珍珠にもいることを知り、失望しました。すぐリアルに残った写真も見せていただき、すごく悲しい気持ちになりました。

今年の夏、衝撃的な事件が起こりました。

それは神奈川県相模原市の障がい者施設「津久井やまゆり園」が襲われた事件です。

僕はこういう人は人権の授業を真面目に受けていない、もしくはそもそも受ける機会がなかった人だと思えます。

学校で「人権」は必ず学習すると思う人がいるかもしれませんが、真面目に聞いていなかったり、真剣に考えたりしていない人は、授業を受けていないのと同じではないかなと思います。

人権の授業を真面目にきいて取り組んでいる人ならば、差別の悪さやおかしさに気づき、こういう事件を起こすような考えに絶対にならないと思います。

今回、このような事件が起こったことで、改めて自分も人権の授業を真剣に取り組もうと思えました。

また、この事件以降、絶対にこういうことが起きてはいけなし、起こしてはいけなしと思えました。

僕たちは、しっかり人権の学習を重ねていき、差別の現状を知り、その不当な差別をなくすように、後世に伝える

ていけないと思います。

また、学生以外の地域の方もきちんと勉強して差別を排除できるように、差別の現状について地域全体で学習していく必要があると思います。

そして、差別のない世の中を創っていきたいと思います。

裕太さんの言われるように「学習」することが大切です。

それも児童・生徒だけではなく、大人の私たちこそ学んでいきたいものです。

この人権作文について、意見や感想、激励など、お寄せください。

また、みなさんの投稿もお待ちしています。

わたしたちをとりまく様々な不合理や差別性について気づいたことや感じたことを一〇〇〇字程度にまとめ、住所、氏名、連絡先電話番号を記入して（匿名も可）、玖珠町教育委員会社会教育課「あなたの人権・わたしの人権」までお届けください。

